



けやき組体操

2021.12.Dec  
2022. 1.Jnu  
2022. 2.Feb

奏の杜園だより

Kid's★garden

毎週金曜日の体操で一年前には3段の跳び箱に挑戦していたけやき組さん、今は5段に挑戦しています。ひのき組さんは今3段に挑戦しています。上手く飛べる子は、跳び終わると意気揚々と列に戻ります。また、苦手な子や上手く飛べなかった子は、しょんぼりしたり、中には列に戻ってから涙する子もいます。上手く跳べる跳べないは、見てわかる『認知能力』です。上手い子や得意な子はどんどんその能力を伸ばして欲しいと思います。片や、苦手な子や跳び箱に恐怖心を抱いている子は、勇気を振り絞って挑戦したり、恐怖心と闘いながら体操の時間を過ごします。この子ども達には“勇気”“挑戦心”や“諦めない気持ち”など『非認知能力』を育てて行って欲しいと願っています。生きていく中で、得な事ばかりではないと思います。また、最終的に得意分野になったとしても、はじめからはそうでないことが多いと思います。そう意味では、この非認知能力は『人間力』に繋がっていくのではないかと考えます。苦勞して頑張った先にある“できた！”は次の頑張りにつながります。子ども達には小さな成功体験の積み重ねをして、何にでも諦めないで挑戦する子になって欲しいと思います。そして“やればできる！”と自分を信じられる子になり、その中から好きな事や得意な分野を見つけて行って欲しいと思いつつ日々願っています。

### 『我が家の子育て2021-⑦』高橋家編 ひのき組

息子はウルトラマンが大好き。とうとうオリジナルのウルトラマンを創り上げました。その名は「ウルトラマンカゼナ」。しんどうあすかという男の子が変身し、必殺技はデュームアポリウム光線など設定も詳細に決まっています。

そんな息子と私が取り組んでいるのが「ウルトラマンカゼナブック」の作成です。息子作、私が絵担当です。まだまだ作成途中ですが、本を見ては「いいの出来てるね。完成したら友達に見せる」や「お店で売る？」などと嬉しそうに言っています。

いつかウルトラマンを卒業する日が来ることを想像するとちょっと寂しいですが、ウルトラマンから学んだ「正義・勇気・絆」といったことは、いつまでも忘れないでいてほしいと思います。

### 『交通安全教室』カッコイイお巡りさん！！

例年は年中・年長クラスのこの時期の教室ですが、ここにもコロナの影響が出ており、昨年は中止、今年は日程変更し年長のみで開催となりました。それでも開催できただけでも良かったです。不審者対応も含め、子ども達には規範意識と同時に、自分の身は自分で守る術を身に付けて行って欲しいものです。制服姿の警察官の方々に、はじめは緊張していた子ども達も、優



しくてカッコいいお巡りさんにいつの間にか引き込まれていました。私は保育士さんに欲しいな！と思いました。(笑)

[主任・学年主任コラム] 3歳未満児学年主任

### 第9弾 竹岡秀子『赤ちゃんの不思議～胎内記憶～』

赤ちゃんは、生れた時に胎内記憶をもっている、という話を聞いたことがありますか？3人に1人は胎内記憶が残っている、という調査結果もあるようです。

我が家には、高校生の息子が二人いますが、長男は胎内記憶をもっていました。お風呂に入っているときに、産まれる時の状況、なぜ産声をあげたのか・・・など、はっきり話してくれました。どこからか仕入れてきた情報ではないし、その時の状況と一致していたので、すごく驚いたのを覚えています。

ちなみに、次男に聞いてみると、「たまごの殻を破ってできた」と言っていました(笑)

寝る前や、お風呂に入っている時などのリラックスしているときに、そっと聞いてみると、不思議な話をしてくれたりするかもしれませんよ！

### 【12月スケジュール】

- 9 (木) 避難訓練
- 24 (金) クリスマス会／誕生会  
食育(けやき)
- 29 (水) ～1/3 (月) 年末年始休園
- 【クラス懇談会】 ※時間別途通知
- 7 (火) くるみ・かりん・あじさい
- 8 (水) ふじ・ひのき
- 9 (木) けやき
- 【月】 課外英語(けやき組)
- 【火・水】 午後 / ピアノレッスン
- 【水】 午前 / 英語
- 【金】 午前 / 体操 午後 / 課外新体操、キッズダンス

【編集後記】3才以上児の各クラスは運動会に向けて寸暇を惜しんで練習をしています。練習を一回見学しないと格段に演技の出来が向上しています。上のクラスになると子ども達同志で声を掛け合い、連帯感や向上心を感じ取れます。そうになると我々職員役割はほとんどなくなってきます。演技のようにテーマをもって取り組むものはその成果を確認し易いですが、目に見えないところで子ども達の成長はこのように著しいのだと思います。成長著しい子ども達を出来る出来ないで判断しないで、その器(出来る範囲)を拡げるような働きかけを日々していきたいと思えます。やればできる！を体感した子ども達のパワーはオーラを放ちます。その姿を今度は3歳未満児の子ども達にも拡げていきたいです。園長 拝